

主要概念の定義

本校では、カリキュラムを編成するにあたって、看護学を構成する主要概念として、人間、健康、環境（社会）、看護の4つを基本とした。

人間	1. 人間は身体的、精神的、社会的に統合された存在である。 2. 人間は成長発達していく存在である。 3. 人間とは労働を通じて生活を支え科学や芸術を作りだし、仲間を知り、人間性を形成し人間となる存在である。 4. 人間は何人からもその生命、身体、健康を害されることなく、生存する自由をその権利として持っている存在である。 5. 人間は単に適応するだけでなく、環境に主体的に働きかけ、変革し、自らの生存の条件を作り出す。その過程を通して自己を変革し発達する存在である。
健康	1. 健康は身体的、精神的、社会的側面がありお互いに影響しあっている。 2. 健康に及ぼす因子には、個人ないし社会の価値観、経済、教育、労働などがある。 3. 健康には客観的側面と主観的側面がある。 4. 健康を維持増進したり、獲得したりすることは、誰もが平等に持っているべき基本的権利である。 5. 健康は人間の尊厳やQOL（生活の質）に影響を与える。
環境 ・ 社会	1. 環境は、人（主体）を取り巻いて、その存在や生活に関わる諸条件の集まりであり、人間と環境は相互に関連しあって、直接・間接的に影響を与えている。 2. 環境は外部環境と内部環境があり、相互作用を持ち健康・発達に影響を与えている。 3. 人間は社会的存在であり、社会は人間らしく生きるための機能を持っている。 4. 社会は、政治・経済・法律・文化・教育・医療・福祉などの機能を持っており、絶えず変化し、発展している。
看護	1. 看護はあらゆる年齢・健康レベルの個人又は集団を対象とする。 2. 看護は人間の最良の健康をもたらすため、健康の保持増進、健康の回復そして安らかな死に向けての援助を目的にしている。 3. 看護とは、日常生活への援助であり、その人らしさを追求した援助であり、QOL向上に向けてのプロセスである。 4. 看護活動は人間との直接的・継続的活動であり、保健医療チームとの連携が不可欠である。 5. 看護活動を展開するためには、専門的知識、技術をそなえると同時に、豊かな人間性が求められる。 6. 看護は、患者の立場に立ち、患者の要求にこたえ、患者とともにたたかう活動である。